

北九州広域都市計画土地区画整理事業の決定（北九州市決定）

金剛土地区画整理事業を次のように決定する。

名 称	北九州広域都市計画 金剛土地区画整理事業			
面 積	約 6.8 ha			
公共施設の配置及び規模	道 路	種 別	名 称	備 考
		区画道路	地区内道路 1 号線	
		区画道路	地区内道路 2 号線	
		区画道路	地区内道路 3 号線	
				既存道路との接続を考慮し、地区施設として地区内道路 1 号線から 3 号線を配置することにより、秩序ある街区形成を図るとともに交通の利便性を確保する。
公園及び緑地	<p>周辺の既存の公園（馬場山東公園）の誘致距離（250m）内となるため、公園を設置しないことで、公共施設管理者と協議済である。</p> <p>地区内に、森林区域や緩衝緑地等を位置づけ緑地を整備する。</p>			
その他の公共施設	<p>1 雨水施設 地区内の雨水については、1 級河川金剛川に放流し、流域に応じた排水施設の整備を図る。</p> <p>2 汚水施設 事業計画地全体を公共下水道の排水区域とし、管渠で集水して既存の終末処理場で処理する。</p>			
宅地の整備	<p>本地区内に、物流施設用地、生活・業務関連用地、住宅用地を整備する。</p> <p>物流施設用地は、物流業務に関連する事務所、倉庫等の建築を、生活・業務関連用地は、集合住宅等の建築を、住宅用地は主として低層住宅の建築を、それぞれ促進させる。</p> <p>いずれの用地も、地区計画により建築物の用途、規模等を規制する。</p>			

「施行区域は、計画図表示のとおり」

理由

別紙のとおり

北九州広域都市計画土地区画整理事業を決定する理由（北九州市決定）

金剛土地区画整理事業

金剛地区は、九州自動車道八幡インターチェンジより北東2.3km、北九州都市高速馬場山出入口まで2.2kmに位置し、北側は一般国道211号、東側は北九州都市計画道路馬場山笹田線、西側は一般国道200号、南側は一級河川金剛川に囲まれた約6.8haの地区である。

本地区は北九州市都市計画マスタープランにおいて、本市の産業振興を図るため、インターチェンジ周辺など交通利便性の高い地域で工業系用地として活用が求められており、今後の発展が望まれている。

また、北九州市物流拠点構想においても、八幡インターチェンジ周辺は物流拠点のリーディングプロジェクトとして明示されている。

今回、本地区において組合施行の土地区画整理事業により、周辺の住宅地との共生と物流・生産拠点にふさわしい産業の場及び良好な市街地の形成を図るため、本案のとおり決定するものである。